

近畿支部

## 近畿支部 秋季セミナー

2025年10月22日に、近畿支部では秋季に3つのセミナーを開催しました。

総務セミナーでは、Flapの吉本敏恵氏に『人事・総務がキャリアを創る 社員の未来を支える仕掛けと視点 ～制度・仕組みだけでなく“関わり方”がキャリアを動かす～』と題してご講演いただきました。社内キャリアを育む制度は、作って終わりではなく「どう育てていくか」が活用の鍵となる、という視点が紹介されました。また、キャリア支援を組織に根付かせる視点や、人事・総務だからできる「キャリアを育てる仕掛け」、そして日常業務にキャリア支援の視点を加える工夫など、自社で実践できる具体的なヒントを得られる内容となりました。制度を整えるうえで、“本人がキラキラ輝いて仕事ができるように”という

思いの面や対話の大事さという部分に改めて気付くきっかけとなるようなご講演でした。

技術セミナーでは、ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社の大坪樹生氏を講師にお迎えし、『電磁両立性(EMC)の重要性と最新テクノロジーを搭載したオシロスコープの活用法』について解説いただきました。90年以上にわたり高周波業界で地位を確立し、EMC

測定分野で高い評価を得ているドイツ企業の専門家として、EMCの基本概念とその重要性に加え、最新テクノロジーが搭載されたオシロスコープを用いた効果的なノイズ測定・デバッグ手法を事例を交えて紹介いただきました。オシロスコープについて全く知識がない人でも理解が深まるような丁寧な解説で、更にローデ・シュワルツならではの技術向上の方法についても詳しくご説明いただきました。

ソフトウェア業界で働く女性のためのセミ

総務セミナーの様子



技術セミナーの様子



中部支部

## 大学・専門学校との情報交換会

2025年11月21日、ザ サイプレス メルキュールホテル名古屋にて、JASA中部支部会員企業と東海エリア11校の大学・専門学校が参加し、「就職・キャリアに関する情報交換会」が開催されました。企業と学校が同じテーブルで率直に意見を交わすこの会は、双方の理解を深める良い機会となりました。

最初に行われたのは参加企業と学校による自己紹介。自社の採用状況や学生支援の現場について共有され、参加者同士がお互いの取り組みや課題を知るきっかけとなりました。

その後は司会進行に沿って、設定されたテーマごとに意見交換が行われました。採用スケジュールや選考の流れ、求める人物像・スキルセットといった企業側の視点に加え、学校側からは学生へのキャリア教育の進め方、就職支援イベントの状況、学生の

価値観の変化などが紹介されました。現場で感じていることやちょっとした困りごとまで含め、自然と幅広い内容が共有されていました。

企業にとっては学生の現状をより深く知る機会となり、学校側にとっても企業の採用方針や動きを理解する場となったことで、双方にとって実務に繋がる学びがあった時間となりました。

17時からは立食形式の懇親会が開かれ、よりカジュアルな雰囲気での交流が進みました。本音を交えた意見交換や、実際の現場での苦労話、学生のリアルな姿に関する話題など、テーブルを囲んでの対話は自然と笑顔が増え、参加者同士が肩肘張らず交流できたことで、距離が近づく良いきっかけとなりました。また、懇親会の中では、採用活動に向けた今後の具体的な連携方法や、イ



ンターンシップの実施、学生向けイベントの共同開催など、次のステップを意識した話題も生まれました。すぐに実施可能な取り組みから、長期的な協力体制まで視野に入れた話し合いとなり、単なる情報交換にとどまらない実りある時間となりました。

今回の会を通じ、中部地区の大学・専門学校との連携が深まり、今後に繋がる関係づくりが進められそうです。参加者からは「直接対話できる機会の価値を再認識した」「学生の変化を共有できて良かった」といった声も聞かれ、非常に有意義な交流会となりました。

ナーでは、「ワークライフバランスセミナー」と題して株式会社GPIの渡辺陽子氏にご講演いただきました。「キャリア形成とワークスタイル」をテーマに、女性特有のライフイベントとの葛藤を「楽しみに変える」ための考え方や、自分らしく働ける働き方、キャリアプランについて考える機会となるセミナーでした。当日はワークシートを用いての自己分析やグループワークを行いました。自己分析をすることで自分を見つめ直し、新たな視点で考えるきっかけとなるようなご講演でした。

また、近畿支部では、今年度より「インクルーシブIT研究会」を計画しており、多様な人々がIT業界で活躍できる環境をともに考える第一歩となりました。

近畿支部では、今後も会員の皆様の要望に寄り添ったテーマでセミナーを企画し、皆様の発展に貢献してまいります。ご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

ソフトウェア業界で働く女性のためのセミナーの様子



## 九州支部

# 九州地域交流セミナー2025開催報告

九州支部では、九州最大級の展示会「モノづくりフェア2025」(マリンメッセ福岡にて、2025年10月15日～17日開催)に協賛し、会員企業4社が出展しました。また、同会場にて初日の15日に、JASA九州地域交流セミナー2025「AI×IoTが切り拓く新たな価値創造」を開催いたしました。

## 九州地域交流セミナー2025

講演1「廃棄りんごから生まれたエシカルレザー『RINGO-TEX』を通じて社会課題の解決と地球環境への貢献を目指す」と題し、appcycle株式会社 藤巻圭様にご講演いただきました。青森県のでりんご産業が抱える廃棄課題を解決する「アップサイクル」事業の立ち上げ経緯や、同社が開発した搾りカス由来のヴィーガンレザー「RINGO-TEX」が、その環境性能と品質によりANAとのコラボ商品やSEIKOのバンドへ採用された実績など

をご紹介いただきました。全般を通して、産学官連携により地域資源を世界へ発信し、持続可能な循環型モデルの構築を目指す熱い想いが語られました。

講演2「生成AIとIoTが創る次世代の現場管理」と題し、株式会社GUGEN 福士清之様にご講演いただきました。

生成AIがIoTと連携し、自律的にタスクを遂行する「AIエージェント」へ進化していること、現場の動的情報はエージェントが自ら判断・実行し、そのツール連携には標準規格「MCP」が不可欠であることなどが解説され

ました。AIは単なる道具から「能動的なパートナー」へと変貌しており、これを使いこなし協働することが、次世代のビジネスにおける必須スキルになるとのご示唆をいただきました。

ネットワーキング交流会では、九州経済産業局の中井萌様から、九州地域でのDX人材のマッチング事業などのご紹介をいただきました。講師の方も参加され、会員と活発な交流が行われました。今回得られたタッチポイントをもとに、新たな支部会員の拡大や、他の委員会、団体との交流を深めていきたいと考えております。

appcycle 藤巻氏の講演



GUGEN 福士氏の講演



九州経済産業局の中井氏



交流会の様子



展示ブースにて







## 次世代組込みOSSエンジニアのスキルマップ案を公開 The Linux Foundationとの協業の成果

組込みシステムセキュリティ委員会 委員長 佐野 勝大

The Linux Foundation (LF)と当協会は、EdgeTech+2025で「OSSで実現するSDxと次世代エンジニア像」と題するセミナーを共同で実施しました。セミナーでは、トヨタ自動車と日立製作所におけるOSSへの取り組みについて講演していただくとともに、「OSS時代のソフトウェアエンジニア像とコミュニティの歩き方」と題するパネルディスカッションによって、出席者の方々に組込みOSSについての理解を深めてもらいました(写真)。これは両団体が2024年11月に発表した、「次世代の組込みOSS技術者の育成に向けた共同トレーニングプログラム開発」の一環となります。

また両団体はセミナーと併せて、「組込みOSSエンジニア向けのスキルマップ」の草案を公開しました。このスキルマップは、エントリー、ミドル、アドバンスドについて、それぞれのレベルに求めるスキル標準を整理した

ものです。このスキル標準に対応した認定試験を通じ、エンジニアのスキルの可視化と価値向上を目指しています。

当協会がこうした取り組みを行う背景には、IoT化に伴う機能の高度化のほか、ネットワークやセキュリティ、OTA (Over The Air) によるサービス更新、AIなど、組込み機器においてソフトウェア駆動型の機能が中心となっている現状があります。これまでのような独自開発のみではスピードや技術が追いつきません。OSSの利活用が不可欠になっています。

組込み技術者の方が、得意とする高度な組込みシステム技術に加え、最新のOSS技術を当トレーニングプログラムで積極的に学ぶことで、組込みシステム産業の裾野が広がると考えています。さらに次世代の組込み機器の実現に寄与し、我が国の強みである製造業の国際競争力向上につながると



確信しています。

組込みOSSエンジニア向けスキルマップの草案については、2025年11月20日から12月19日にかけてパブリックコメントを募集しました。その結果をレビューするとともに最終調整を行い、2025年度中をメドに「組込みLinux開発者向け認定制度」の基本的な制度設計の最終版を公開する予定です。またトレーニングプログラムは、2026年度の開始に向けて検討を進めています。今後の展開にご期待ください。

## 新卒求人活動支援 交流祭典2025 in近畿 開催報告

人財交流委員会 委員長 安藤 亘

2025年10月22日(水)、大阪市北区「兆-KIZASHI-」において、JASA主催の新卒求人活動支援イベント「交流祭典2025 in 近畿」を開催しました。本イベントは、関西圏の学生および学校関係者に対して組込みシステム業界ならびに会員企業の魅力を発信し、継続的な関係構築を図ることを目的としています。また、会員企業における新卒採用活動の支援も重要な狙いとしています。

委員会活動の一環として、関西圏の大学・専門学校へ広く案内を行うとともに、情報交換を重ねてまいりました。学生の参加促進はもちろんのこと、日頃より就職支援に尽力いただいているキャリアセンター担当者の継続的な参加につなげ、業界の認知度向上と関係強化を推進していく考えです。

当日は、JASA会員63名、学生17名の計80名が参加し、昨年度の71名を上回る盛況

となりました。まず業界紹介セミナーでは、JASAの活動概要に加え、組込みシステム業界の現状や将来性について解説。その後の交流会では、ビュッフェ形式の食事を楽しみながら、参加企業および学生の紹介を行い、企業と学生が直接対話できる有意義な場となりました。さらに、くじ引きによる初期席順の決定、色分けしたネームストラップの活用、途中での席替えといった工夫を盛り込み、多様な交流が生まれるよう配慮しました。恒例のビンゴ大会も大いに盛り上がり、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

開催後のアンケートでは、学生・学校関係者から「企業と直接話ができて有意義



だった」「交流の時間をさらに増やしてほしい」といった声が寄せられました。企業側からも採用活動につながる手応えを感じたとの意見がありました。

今回の交流祭典では、参加学校数が増加しましたが学生数はほぼ横ばいとなりました。今後も関係構築と継続的なフォローが重要であると改めて認識するとともに、日程や会場選定が学生動員に及ぼす影響にも配慮しながら、次回以降はさらなる交流促進と参加者満足度の向上を目指してまいります。